

## こんな便利なものが (Win10のアクセサリ)

JJ1SXA/池

Win10 のアクセサリはスタートメニューのアプリ一覧にある「Windows アクセサリ」から起動できる。

「ペイント」は、描画や画像サイズの変更といった基本的な画像編集機能を備えている、画像の端をドラッグすることで、キャンバスを伸ばせるので複数の画像を 1 枚にまとめた時などに活用でき、画像に文字や図形を書き込んだり、任意の領域を選択してトリミングしたりもできる。

「ペイント 3D」は立体オブジェクトを扱えるのが特徴だが、優れたレタッチ機能も備えている、「マジック選択」機能で対象物をざっくり囲むと、自動的にそれを選択してくれるのだ、然も「背後のオートフィル」設定を有効にした状態で選択部分を削除すると、最初から無かったように画像処理をしてくれる。

「スニッピングツール」は「切り取り&スケッチ」の前身となる画面キャプチャー、画面を取り込むと自動的に編集画面が開き、手書きメモなどをつけられる。

「ウィンドウズメディアプレーヤー」は音楽 CD を取り込めるが、その際に音質が劣化しない「オーディオロスレス」形式も選択できるようになっている、また、音楽だけでなく、さまざまな形式の動画ファイルも再生できる。

「ワードパッド」は簡易的な文書の作成に利用、文字を装飾したり、画像を挿入したりできる、また、フォントの指定も可能で、「@」から始まるフォントを利用すれば、縦書き文書も作成可能、利用する機会は少ないかも知れないが、数学や物理で使うような数式を手書きで認識させる「マスインプットパネル」(数式認識パネル)もある。

「メモ帳」も見た目は同じながら、細かい機能が追加されている、初期設定の文字サイズは小さめだが、「Ctrl」キーと一緒に「+」「-」キーを押すことで手軽に拡大・縮小ができる、また、先頭に「LOG」と入力して保存しておくと、開いた時に自動的に日時が入力されるようになるので、作業記録などに活用できる。

私の PC では、「ペイント 3D」も「スニッピングツール」も、アプリ一覧の「Windows アクセサリ」に見当たらなかったのので、下の検索窓に、「ペイント 3D」、「スニッピングツール」とそれぞれ入力して呼び出した。

Win10のアクセサリも、使ってみると以外に便利なものも多い、知らなきゃ損、使わなきゃ損ということだが、私も今までほとんどを使っていなかった。